

## 会 議 録 (要旨)

会議の名称	第 5 回本荘まちづくり協議会
開催日時	平成 31 年 3 月 20 日(水) 午前 10 時から午前 11 時 40 分まで
開催場所	鶴舞会館 研修ホール
出席者氏名	別紙名簿のとおり
欠席者氏名	別紙名簿のとおり
会議次第	
1. 開 会	
2. あいさつ	
3. 会長あいさつ	
4. 案 件	
(1) 平成 31 年度主要事業・予算説明について	
(2) 各部会の協議状況報告	
5. その他	
6. 閉 会	
会議の経過	別添のとおり

## 第5回本荘まちづくり協議会出欠名簿

(敬称略)

(委員)

役 職	氏 名	備 考
委員	畠山 要一	
委員	伊藤 泰博	
副会長	荘司 仁	
委員	小松 幸子	
委員	朝日 紀予	
委員	木内 由喜	
委員	須田 祐一	
委員	三嶋 一子	
委員	川津 利幸	
委員	鈴木 幸治	
委員	今野 矩子	
委員	佐々木 昌喜	
委員	原田 礼子	
委員	大友 ます子	欠席
委員	吉田 輝久	欠席

役 職	氏 名	備 考
委員	佐々木真理子	欠席
委員	安倍 一毅	欠席
委員	齋藤 加奈子	
委員	鈴木 睦子	
委員	成田 弘美	
委員	菅原 清香	
会長	吉田 隆	
委員	佐藤 正樹	欠席
委員	嶋崎 真仁	
委員	猪股 和子	
委員	加川 正夫	
委員	縄野 博美	
委員	齊藤 淨	

(市側)

所属・役職	氏 名	備 考
地域振興課長	木内 卓朗	事務局
参事兼課長補佐兼班長	越川 憲光	事務局
主 査	長澤 辰徳	事務局
主 査	加藤 淳子	事務局

## 会議の経過

# 第 5 回本荘まちづくり協議会（要旨）

平成 31 年 3 月 20 日(水)

午前 10 時 00 分開会

午前 11 時 40 分閉会

### 開会（進行：地域振興課 越川参事）

ただ今より第 5 回本荘まちづくり協議会を開会します。

開会にあたり、地域振興課長の木内がごあいさつを申し上げます。

### 木内地域振興課長

本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

皆様には平成 29 年 8 月の委員委嘱以来、3 つの部会それぞれのテーマに添って協議を進められ、現在は、各部会とも実践活動をされていると伺っており、たいへん心強く感じております。

市といたしましても、皆様とともにまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、引き続き、活発な協議会活動をよろしくお願いいたします。

このあと、担当より市の財政状況の説明をさせていただいた後、部会長のお三方から各部会の協議経過のご報告をいただきます。

今後とも、地域の発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げ、あいさつといたします。

### 越川参事

吉田会長よりごあいさつをお願いします。

### 吉田会長

本日は年度末のお忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。委員の皆様には、各部会におきまして、活発な討議をいただいておりますことに、あらためて感謝申し上げます。

今日は、市のほうから新年度予算や事業の説明をしていただきます。市の取り組みを踏まえながら、協議会活動をいろいろな視点からまとめていただければと思っております。

また、後半には各部会の協議経過について、それぞれの部会長様から報告していただきます。自分たちにできることを協議し、議論を重ね、実践活動につなげていると思っております。大変心強く感じております。私たちの委員としての任期も残すところ 4 ヶ月あまりとなりましたが、引き続き所期の目標達成のためにがんばっていただきますようお願いいたします。まして開会のあいさつといたします。

### 越川参事

（本日のスケジュールを確認。）

由利本荘市まちづくり協議会条例第 7 条第 2 項の開催要件に関する報告をします。本日の出席委員は、23 名です。委員総数 28 名の過半数となっていますので、開催要件を満たし

ている事を報告します。

協議に入ります。

進行は、同条例第7条第1項の規定により、吉田会長にお願いします。

### **吉田会長**

ご指名をいただいたのでしばらくの間、進行を務めさせていただきます。

それでは、平成31年度市主要事業・予算説明について、事務局よりお願いいたします。

※【事務局（長澤主査）配布資料により説明】

### **吉田会長**

皆様から質問等ございましたら挙手して発言をお願いします。

### **A 委員**

歳入に関して、市民からの税収は決まっており、外からの収入を得るべきでないか。今後の取り組みとして、ぬいぐるみやマスコットの販売やふるさと納税を大阪のようにやってもよいのではないか。

### **吉田会長**

歳入不足に対して、税収以外の収入源を検討するべきでないかという主旨のご質問です。

### **木内課長**

おっしゃるとおりです。ふるさと納税は地域振興課で担当しています。大阪府の泉佐野市はこのあと総務省の規制がかかりますが、それからの取り組みを注視していきます。

由利本荘市のふるさと納税は楽天市場からの寄付もできるようにしたことで昨年より2,000万円増えています。返礼品目も4月から220から267品目へ増やします。決済方法もコンビニやアマゾンペイなどを導入しています。

### **A 委員**

牛肉やカニが人気が高いので出したらどうですか。

### **木内課長**

由利本荘市でも由利牛は出していますが、一番人気なのは国産のはちみつです。二番はフランス鴨です。他には生産者が見えるお米、先日テレビで取り上げられた日本酒なども多いです。

### **吉田会長**

マスコミの効果もうまく活用できるとよいですね。

### **B 委員**

持論として、本荘に北限の食べ物があるのをご存知ですか。時期がずれているので売れるのです。それは孟宗竹です。イチジクもです。宣伝が下手なので売れ残ります。遊佐のジオパークでは孟宗竹の味噌汁を出しています。本荘でもやってくれればと思います。

#### **木内課長**

参考にさせていただきます。投げかけをして、やってくださる方がいればぜひ取り入れたいと思います。

#### **C 委員**

ジオパークの認定ガイドになって1年が経つが、ガイドの依頼が少ないです。ジオパークは総合政策課、バスの運行や玉田溪谷は観光文化振興課と縦割りになっていると感じます。ガイドと各担当課が話し合える場を設けて欲しいです。

また、昨年末に総合政策課より依頼された新創造ビジョンの後期計画に向けたアンケートについて、質問が漠然としており、これまで進めてきた結果がどうなったのかも書いおらず、とても回答が難しいアンケートです。

#### **木内課長**

総合政策課に伝えます。観光のほうとも連絡を取りながら、担当者とガイドさんの会合を開くことができるよう要望します。

#### **吉田会長**

東北6県の中で秋田県が一番観光誘客数が少ない現状です。県も市もPRが下手なのかなと感じます。まちづくり協議会でも交流人口を増やしながら活性化していきましょうとやっていますが、なかなか実績に結びついていない状況です。今後も委員の皆様からご意見を頂戴しながら地域の活性化が一步でも二歩でも前進するように進めていきたいので、引き続きご協力をお願いします。

他にございませんでしょうか。

#### **D 委員**

二つ言いたいことがあります。一つは山のことです。地産地消の電気を作っていくということをぜひやっていきたいんですが、堆肥やバイオガスの発電も良いと思います。山を管理するにあたって、ただ切るだけというのは不合理なんです。山の価値もなくなって、持ち主が山への魅力を感じなくなり手放す人が増えていくと思います。けれども、山の管理にあたって大きな森林業者だけではなく、市民が林業やそれを展開するための薪ボイラーの導入を含めた活動をすることで一つエネルギーが生まれるんです。

それとは別にバイオマスの導入で電気を自分たちで作って使う形をぜひ取り組んでいただきたいと思うんです。これには初期費用がかかりますが、うまくいったとすれば自分たちの自力がつき、今後大災害が起きたときお風呂も沸かせなかったということにならないようにするため、普段から地域で自立するということを念頭において山を活用できるようにしておき、関わった市民が少しでもマージンがもらえるようになれば励みにもなると思います。

他ではすでにやっているところもあるのに、本荘ではできないのはなぜかと考えると、これは言いたいことの二つ目になるのですが、新しいことへの警戒とこれまでのことを継続する意識が強すぎるからだと思います。よく吟味すればちゃんとできるので、新しいことをやっていかないといけないと思うんです。例えば薪ボイラーは裁断して乾燥させればできますが、チップ、ペレット、パウダーの中から、本市は最初にペレットに手をつけ、水分の管理が難しく失敗しました。ペレットはコストがかかるのはよく吟味すれば分かっていたことです。税金の無駄遣いと言われてしまいます。ゴーサインを出す人たちが感覚を磨くか、他を見てくるか、若い人たちに案を出させて動かさせて責任は上の人がとるというのをやらないと、独創的な発想や動きはできないと思います。

あと、各課の垣根が高すぎて、その結果が今です。垣根を外すトータル的に見える人達やゴーサインを出す人たちの立場を作って、女性の目や若い人たちの目を組み入れてほしいです。今の若い子は学校でもいいことを学んでいい着眼点を持っています。トップに立つ人が守りに入らず頭を柔らかくしないと衰退しかありません。何も動かない本市を見た若い人は「どうせ」という気持ちで黙って出て行きます。色々挑戦できる場所だと思える場所にしたいです。その辺をどう考えてるのかな。

それは別として地産地消のエネルギーは山の管理を依存するだけではなく、収入に結びつくような持続可能な形というのをポイントにして検討してほしい。世界を見れば様々な事例があるので視野を広くしてほしい。問題が起こるのは当たり前なので最初から乗り越える気もなくやめるのではなく、同じ土俵に立たされているので、意識を変えるような取り組みをしてもらいたいです。

## 吉田会長

今のご意見に対してお答えできる範囲でお願い致します。

## 木内課長

バイオガスとか山の管理につきましては担当の方によくお伝えしておきますのでよろしくお願ひします。若い子がどんどん出ていくということに関してはいろんな担当でそれぞれ取り組んでおります。人口減少対策ですね。私どもの方も取り組んでいますし、この部署でということではなく市全体で最重要課題ということで取り組んでいますのでいろんな方法があると思います。あらゆる方法でご意見いただいたことを参考に取り組んでいきたいと思っております。

## D 委員

すいませんもう一個いいでしょうか。

皆さんそれぞれ取り組んでくださっていることは分かるんですけども、まとまりがないと思います。仕事を誘致する、仕事場を作る、それは大切だとは思いますがそれが中心なのかなというのが私の中では疑問がありまして、例えば子育てしやすい環境を作ること、ここで子育てして良かったなという家族が一つでも多く生まれれば、そこで育った子供達は一回は外に出ても子育てする時にここでしたいと思える場所の大きな目印になるんじゃないかなと思います。人に優しいというのは活力がある、市民が参加できる持続型の色んな仕組み

があるとか、あとは子育てしやすい環境が整っていることですが、ここが遅れています。子供の遊び場がありません。それを準備するのは大人の責任です。そこにもっと大人の気持ちを傾けてみんなで若い人たちや子育て世帯が住みよい環境を作っていくのが持続可能な仕組みだと思います。ただ人を増やすだけでなく、そこに住みたい環境を作るという共通観念を皆が持っていれば、それに付随した仕事というのは自ずとできると思うんです。どこが住み良い場所か、どこが育てやすい子育て環境か、人が育ちやすい場所か、という視点を持って色々な案を練っていただけたら方向は間違えないで済むんじゃないかと思います。そういうところを大事にしてもらいたいと思います。

#### 吉田委員

ありがとうございました。色々と視点や角度を変えるといろいろな見方がありますから、決してそれを批判するわけではないので、貴重なご意見ありがとうございました。他にどなたかございますか。

#### E 委員

3個質問します。1つ目が15ページの42番いきいき子どもプラザ整備事業について、今現在の中央児童館の運営費がいくらぐらいなのか知りたいです。2つ目が21ページの169番木のおもちゃ美術館管理運営費の内訳が知りたいです。3つ目が同じページの172番173番174番の学校とか子供とか関係する事業のところで、この事業内容の違いを教えてください。

#### 吉田会長

ありがとうございました当局の方で詳細を把握できていますか。

#### 木内課長

手持ちで今日持ってきていないので後で回答させていただくということでご了承ください。

#### E 委員

第二部会が次に集まる時までに教えていただければと思います。

#### 吉田会長

どうもありがとうございました。時間も経過しておりますのでもしよろしければここで平成31年度使用事業と予算の説明を終わらせていただきまして次の次第に進めさせて頂きたいと思います。よろしいでしょうか。4の(2)各部会の協議状況の報告をいただきたいと思います。事務局の方から活動経過お願いします。

#### 長澤主査

昨年9月25日に開催された第4回全体会のあとも、各部会において設定したテーマごとの「目指す姿・将来像」に向けて引き続き協議を継続していただいております。

第1部会は「住民が主役の地域づくりと生活環境の向上」、

第2部会は「地域資源（施設・自然）を活用した市民生活の充実の促進」

### 第3部会は「地産地消から広げる市民交流」

について、それぞれ実現に向けて活発な議論をいただいております。

各部会の今までの協議結果をまとめたものがお配りした資料の中にありますが、ご覧のとおり現在に至るまで何度も協議を重ねています。みなさまにはお忙しい中、活発な部会活動にご協力くださいまして、本当に感謝申し上げます。

引き続きよろしく願いいたします。

各部会協議の詳細は、この後、各部長さんよりご報告いただきますが、ご自身の所属する部会以外の活動をここで情報共有しながら、協議会全体で合意形成を図っていただきたいと思いますので、各部会の活動経過報告に関して、みなさんのご意見ご感想をいただければと思います。

私からの報告は以上です。

### 吉田会長

ありがとうございます。ただいま事務局の方の活動報告をいただきましたこの後は各部会の報告を頂戴したいと思います。最初に第一部会の荘司部会長よりお願いします。

### 荘司部会長

第一部会の荘司でございます。これまで13名の委員の方々に合計9回集まっております。第1回が平成29年の10月から第9回が平成31年度2月まで9回集まっております。協議経過は皆さんにお配りした資料の通りでございます。これを朗読として報告と代えさせていただきます。

人と繋がり、人が集まる、子供や高齢者、防犯、防災、交通などのキーワードから「住民が主役の地域づくりと生活環境の向上」を目指す姿として設定し、町内会が果たしている役割や課題について町内会長でも町内会員でもない第三者的な視点から明らかにしてみることとした。秋田県立大学生徒のグループ討議では四年間大学生活を送ることになる地元の地域に何を求めたいか、地元との付き合い方をどう考えるかについて尋ねてみることにした。その結果お祭りへの参加、合同文化祭、有償ボランティア、広報誌などが届かないなどの意見を得た。これらの意見を整理していく中で第一部会が取り組めることとして町内会への加入の問題について考えてみることにした。加入のメリットを知ってもらうことが重要でありチラシを作成し町内会長等に雛形を提供してみることにした。チラシの内容について協議を行い広報誌の配布やゴミステーションの管理など町内会が果たしている重要な役割を知らない人に知ってもらうという意味でも有意義な取り組みであることを確認した。各町内の未加入世帯への戸別配布用としての雛形他、市役所での転入手続きの際にも汎用版のチラシを配布するよう依頼することとした。また市役所の転入手続きの際に各町内の行政協力員ではなく町内会長名を転入者にお知らせしてもらうことや、アパート管理会社にもチラシを配布するように提言することとした。

資料の最後の方に「町内会加入のすすめ」というという雛形、これは今日に合わせて完成版です。これを各町内会の会長さんが他に配布するということが第一部会の最終的な目的でしたので皆さんにご報告申し上げます。



## 吉田会長

庄司部会長ありがとうございました。ただいま第一部会からご報告がありましたが皆様から質問やご意見などお伺いしたいと思います。ございませんでしょうか。

ないようですので次に第2部会の三嶋部会長さんよりご報告をお願いします。

## 三嶋部会長

第二部会からご報告します。今回発表したいのは4つの項目です。1つ目はおもちゃ美術館のパンフレットの的なものを作る事です。実際に年内中に皆さんに記事を書いてもらい第二部会の菅原委員にパソコンで作ってもらったものを資料に添付しています。私たちはおも美パンフレットと呼んでいます。こちらは新しいお客様のために作ったというよりは美術館に来ていただいた方々がリピーターになってもらうために作ったものです。2月におもちゃ美術館のほうに置かせて頂いています。こちらの反響はまだ確認できていませんが最後の全体会の時には報告できると思います。

2点目はコスモワールドという南由利原の方にある望遠鏡のことですが、老朽化のために市はこれを売却する予定があるそうです。せつかくの財産です。今、産業課の担当になっているそうですが、これを子供達が勉強のために使ったり、あの辺一带の観光のために活用していけないかと考え、ゴールデンウィーク明けに第二部会で実際に見に行ってみようという計画です。こちらも次回報告できると思います。

3つ目が愛宕町にある中央児童館です。老朽化のために移転し、新しく「いきいき子どもプラザ」建てるのですが、今設計図が出来上がったそうなので、これからあの辺一带の方々が使う以外にも由利本荘市のこどもたちができるだけ平等に使用できるように私たちの意見も出していきたいと思っています。

4点目が地域生活支援センターですが、これに関しては朝日委員の方が詳しいので説明させていただきます。

## 朝日副部会長

説明変わります。第二部会の協議分野に福祉もあったので今回は障害に関する事で一つ取り組みました。二番堰にある由利本荘市地域生活支援センターに皆さんで視察に行ってきました。障害のある方もない方も住み良くいられるようにするにはどうしたらいいのかというお話を伺いました。

その後第二部会の委員にアンケートを実施したところ、大きく2つ意見があり、1つ目が障害者への理解を深めるための知識を地域の人に広めることが支援につながるのではないかとということでした。

もう一つが障害福祉に関する制度や支援を受けられずにいる方が結構いるのではないかとということです。そういった方にもどういった支援があるか何かできないかという意見が多く出ました。

第二部会としてはそういった地域での理解が広まるような一つの形と言うか提案として講演会の実施がいいのではないかと結論に至りました。例えば障害福祉の現場や知識、またはそれに当てはまらない方に対する支援の仕方などについてです。まちづくり協議会の委員の方々や町内会長さん、民生委員さん、あとは相談窓口になりやすい小中高校の先生など

を対象に講演会や研修会などの実施につなげたいです。ただこれから先任期までに第二部会としてやらなければならないことが他にもあるので、この福祉に関するところは今後の展望としてお示しする形で集結しそうです。

### 吉田会長

どうもありがとうございます。ただいま第二部会からのご報告に関してご意見ございましたらお願いします。

### B 委員

鮎川のおもちゃ美術館では孟宗竹を使った流しそうめんなどをやっています。それから無料ゾーンに昔米を運んだ川船があります。そこに米俵がないのが残念です。それを子供達や全国の人に見せたり食べさせるという発想をしたらどうでしょうか。米俵を作る人が大内にいるそうですので働きかけてもらえればと思います。人を集めるには工夫しないと集まりません。

### 三嶋部会長

無料ゾーンに郷土の農機具を展示しているスペースがあったので米俵を置くのもいいと思います。酒田のオランダせんべいファクトリーに行くで一俵の米俵からカップ何合とかお茶碗何杯になるか展示してあるところがあるので、そういうふうにしてみたらいいかもしれませんね。無料ゾーンは素通りしてしまいがちなので、体験型があればいいかもしれませんね。ありがとうございました。

### 吉田会長

貴重なご意見ありがとうございます。他にございませんでしょうか。なければ次に第三部会の縄野部会長お願いします。

### 縄野部会長

第三部会とてのまとめは、これまでの協議経過として事務局の方でまとめた資料を読んでもいただきたいと思いますが、中程から下の方に10月15日に JA の施設めぐりツアーを行いまして、他の部会にも声をかけましたところ委員の方が11名ほど参加されました。これを一般の方にもということで JA と打ち合わせをして、農業関連施設見学会ということで4月18日に実施することで決まりました。皆さんのお手元にもパンフレットがありますが、これは JA のほうで作っています。また前回のコースとは別の場所を JA のほうで選んでくれています。委員の皆さんの中で参加したいという方がいらっしゃいましたら事務局の方へ連絡してください。ちなみに参加料は無料ですが、弁当が1000円と1500円のどちらかを選ぶ形になっています。1500円の方は由利牛が入っています。1000円は幕の内弁当です。是非日程が合えば皆さんにも参加していただきたいと思います。そんな取り組みで第三部会は今後、地産地消から広げる市民交流、市民への参加に対する周知に対してもできたかなということで考えております。以上です。

## **F 委員**

募集人数が30人で、参加者多数の場合は抽選となっているが、委員の参加枠はあるのですか。申し込んでも一般の人が大勢いれば委員は参加できないのですか。

## **縄野部会長**

いっぱいであれば市のバスを出す準備をしておりますのでその辺は気にしないで申し込んでいただければと思います。

## **吉田会長**

ありがとうございました他にどなたかご意見ございませんでしょうか。

## **G 委員**

家畜市場の競りは見られますか。

## **縄野部会長**

競りのない日を選んでいきます。競りのある日ですと中まで入って行けないんです。実際に牛になった気持ちで中に入っていくことができます。

## **H 委員**

こちらのチラシは外部に配布してもいいですか。

(事務局より OK の合図あり)

分かりました。では早速色んな所に配ってみたいと思います。

## **吉田会長**

ではH委員から広報活動をお願いします。ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

## **E 委員**

第三部会はこれからも昼市に協力するのでしょうか。

## **縄野部会長**

昼市の関係は私が部会長として前々回にボランティア活動として参加したのですが、作業として交通整理の係を私がいなかった会議のときに決められてしまいました。それで昨秋の前回の昼市では、交通整理は我々も学生もできないのでプロの方をお願いしたため、共催はしていません。名前が残っているかは分かりません。

## **B 委員**

私は昼市に参加します。ジオパーク関連で子供達に何かできないかというのと、本荘のまち歩きもやっているのでも協力するよと大学生に話しました。大学生にヒントを与えるのが我々大人の仕事かなと思って参加しています。

## 吉田会長

E 委員の質問にお答えします。11日に前の代表の学生さんが卒業ということで新しい体制になるのでかだろサロンに参加してきました。駅前市場の活性化を引き続きやっていきたいという意見が出まして、4月4日にまた集まって開催日や内容について話し合いをすることになりました。私としては県立大の学生さん達の知的財産をどんどん活用して取り組んでいければいいなと思っております。それに賛同してまちづくり協議会の皆さんも協力していただければ幸いです。今はそういう風な状況です。

## G 委員

補足してもいいですか。昨年11月の昼市の直前に学生さんを中心としていろいろな団体が集まって協議体というのを結成しました。私も子育てサークルとして入っているのですがやっぱり判断を学生さんたちでやるというのは難しいところがあって主体である学生を周りの大人が支える形で意思決定をサポートしていこうとやっています。先日のかだろサロンでも、開催日が他のイベントとバッティングしないようにみんなで情報を集めて盛り上げていきたいとやっていますので、お声掛けの際はご協力をお願いします

## 吉田会長

どうもありがとうございます。ということで前向きに進めておりますのでぜひご協力をお願いします。

## 縄野部会長

協議体の方からまちづくり協議会に対して依頼文を出してもらおうと動けるのかなと思います。

## G 委員

依頼文を出すよう話をしてみます。

## 吉田会長

学生さんたちは、街の顔である駅前が衰退していて、歴史のある駅前市場を活用する方法がないのかとの思いから昼市を開催しています。

私がまちづくり協議会に参加した当初、まちづくり協議会でも本荘の玄関口である駅前の活性化ということを協議していて、それが県立大の学生さんの考えていることと合致したので、お手伝いできるのかなという思いで本荘まちづくり協議会も協賛ですよとポスターに出させていただいた経緯があります。B 委員さんからも協力していただいて、私も交通整理をやらせて頂きました。

できれば人口減少に関する問題点や課題解決を少しでも我々市民目線で協力できるのであれば協力していきたいと思っておりますので、まちづくり協議会の皆さんには、もし趣旨をご理解いただいた中で垣根を取り払ってご協力いただければと思いますがいかがでしょうか。

## E 委員

個人的に協力したいとか、色々な方がいる中で学生さんたちをサポートしたいという人が増えるのが一番いいと思いました。まちづくり協議会というのは堅苦しい名前ですが、意志がある人が来ていて、多分何かやらなければいけないことを抱えれば抱えるほど足が重くなってしまいます。まちづくり協議会の良さというのは行政では手順を踏まないとできないことでも、いいなと思ったことがパッとできる大人が集まっている集団だと私は思っています。多分任期が終われば少し距離は離れてしまいますが、これが縁だと思っているので、皆さんの活動の中で何かアクションが起きてるなと思った時に協力できる大人の一人でありたいと思っています。

## 吉田会長

ぜひかだろサロンに参加していただいてそういう活動を続けていただければなと思います。ありがとうございます。

よろしいでしょうか。もうだいぶ時間経過しておりますのでこれで各部会からの経過報告を終了させていただきたいと思います。続きまして次第の5番その他につきまして事務局の方からご連絡等ございましたらお願いします。

## 長澤主査

(新創造ビジョン後期計画策定に係るアンケートの回答についてお願い)

## 吉田会長

他にございますか。

## H 委員

相談がございます。昨年ご協力していただきました学生との話し合いの場というのを今度の4月から7月の間に持っていただくことはできるかということを確認したいです。具体的には5月から6月にかけて本荘キャンパスで部会を開催していただくことになるとと思います。

## I 委員

去年と同じような日程で学生さんたちが新しい2年生になるということですか。

## H 委員

はいそうです。

## 吉田会長

可能ですよね。

## H 委員

7月でこの場自体は改選になってしまうのでそこら辺でどうかなと思ってお聞きしましたがありがとうございます。日程を調整して開催させていただきたいと思いますのでよろしく

お願いします。

#### 吉田会長

ありがとうございました。

それでは本日の案件は全て終了と致します。皆様のご協力ありがとうございました。

#### 越川参事

長時間にわたりまして議論ありがとうございました。特に市の平成31年度の主要事業予算につきましては本当に貴重なご意見、厳しいご意見たくさん頂きまして参考になりました。やはり横の連携というのは大切だというのは常々感じております。引き続き市政推進にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

次回のまちづくり協議会は6月に予定をしておりますのでよろしくお願いいたします。以上をもちまして、第5回本荘まちづくり協議会を終了いたします。ありがとうございました。